

NIKKEI Smart Work **働き方改革 ADVANCE** 事例で学ぶ治療と仕事の両立支援

現在、日本の労働人口の約3人に1人が何らかの病気を抱えているといわれています。そこで、企業には「病気を治療しながら働きたい」という思いがある人が働ける環境を整備することが求められています。「治療と仕事の両立支援」は、企業にとって自社の社員の健康確保を図ることと同時に、経営戦略的な視点に照らすと、働く意欲を持った人材に活躍してもらうことで企業がより強くなるという側面も持ちあわせた重要なテーマです。本フォーラムでは有識者からの講演や、既に具体的な取り組みを進めている企業の事例紹介から、「治療と仕事の両立支援」が企業にもたらすポジティブな効果について考察します。

シンポジウム
プログラム

日時

2018年 12月 12日 (水)
14:00 ~ 17:00 (開場 13:30)

場所

ベルサール半蔵門

千代田区麹町1-6-4 住友不動産半蔵門駅ビル2階

14:10 ~ 14:40 基調講演 「働きかた改革と両立支援」

大竹 文雄氏 (大阪大学大学院 経済学研究科 教授)

14:40 ~ 15:10 基調講演 「“治療と仕事の両立支援”と“健康経営”」

森 晃爾氏 (産業医科大学 産業生態科学研究所産業保健経営学 教授)

15:10 ~ 15:30 わかりやすい「治療と仕事の両立支援」

桂 三四郎氏 (落語家)

15:45 ~ 17:00 パネルディスカッション「明日から始める両立支援のヒント」

大竹 文雄氏、森 晃爾氏、浅野 健一郎氏 (フジクラ CHO補佐)

村本 高史氏 (サッポロビール 人事部 プランニング・ディレクター)

【コーディネーター】桜井 なおみ氏 (キャンサー・ソリューションズ 代表取締役社長)



大竹文雄氏



森晃爾氏



桂三四郎氏



浅野健一郎氏



村本高史氏



桜井なおみ氏

我が社の働き方改革、さらに前へ！

治療と仕事の両立



しかし
厚生労働省が策定した
「両立支援のための
ガイドライン」を読んで
私は考えを変えたのです
病状が安定し
復職への見通しが立った
時点で本人の希望が
あるのなら…

治療しながら
働くという選択肢も
あるべきだと！
なぜなら「働く」とは
自分という
存在を輝かせ
生きるエネルギーに
つながるものだから

我々は
「両立支援のための
ガイドライン」をもとに
治療と仕事の両立支援を
進めていきます！

詳しくは
会場で！

治療と仕事の 両立支援

TECOL

では はじめに
治療と仕事の両立支援に
積極的な企業の代表として
島耕作会長に
ご登壇いただきます

治療と仕事の両立支援シンポジウム



島耕作です

治療と仕事の両立支援…
正直 最初は戸惑いました
そもそも大病した人を
働かせていいのか？
治療に専念してもらおう方が
いいのではないか？

注) この漫画はフィクションです。島耕作はシンポジウムに参加、登壇いたしません。 ©弘兼憲史 / 講談社

NIKKEI

Smart Work

働き方改革 ADVANCE 事例で学ぶ治療と仕事の両立支援

2018.12.12(水) 14:00~ ベルサール半蔵門(千代田区麹町) お申込み: <https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>

